



Earth Rise

No. 12

平成26年8月19日(火) 発行

矢掛高校の活動や地域の様子・E S D
等について発信していきます。

岡山県立矢掛高等学校長 川上公一



やかげ町並みこども連合

平成26年3月に矢掛小学校・矢掛中学校・矢掛高校の有志をメンバーとする『やかげ 町づくりこども連合』が結成されました。固定されたメンバー制をとらず、町内で行われる行事などに参加しようとするたびに、メンバーを募集し活動する組織です。高齢化が進む町並みで若者は貴重な戦力です。矢掛の町並みにこどもの声が響き、こどもが走り回るようにしたいのです。ときにはお年寄りが、こどもを叱る場面も出てくるでしょう。それが本来の活気ある町なみだと私たちは考えるのです。異年齢の集団を組織することで持続発展可能な教育を実現させるとともに、活動を通して地域に貢献する意識をもった人材を育成したいと考えています。

5月17日(土)【矢掛で育つ子どもの未来についてはなすカフェ】が、やかげ町屋交流館谷山サロンで開かれました。矢掛で育つ子どもたちが、周りの大人や地域ともっとつながり、もっとすてきな町にするために年齢や性別、学年や役職などの垣根を取り払って、矢掛についてみんなでワイワイ話し合おうというイベントです。矢掛小学校・矢掛中学校・矢掛高校の【やかげ町並みこども連合】から大勢参加しました。地域の方も大勢参加してくれました。



素晴らしいのは、行政や学校が行うのではなく、民間のボランティアの手で運営されようとしていることです。新しい風が矢掛にも吹き始めています。矢掛町役場からは、ヤカッピ〜と山野町長が参加です。



6月7日(土) やかげ町家交流館谷山サロンで「矢掛の町の価値を見つけるブランズディ」が開催され、小学生・中学生・高校生が一緒になって、矢掛の新しい価値(ブランド)について話し合いました。

このたくさんの付箋は、こどもたちが真剣に考え、話し合ったものです。

8月19日(火)には、小学生・中学生を矢掛高校が誇るユネスコルーム『フォレスト』に迎えて、やかげ町並みこども連合の研修会。矢掛の未来を考える会です。

今回は、ゴミ問題について話し合いました。次回9月13日には、ゴミの実態を探るフィールドワークを実施します。

